



高橋正敏



北川 豊

呼応する、原風景へのまなざし。



砂田 友治



高橋伸

砂田友治(組C)1960年、油彩・カンヴァス、苫小牧市美術館蔵
北川豊《黄昏(2)》1975年、油彩・カンヴァス、苫小牧市美術館蔵(部分)
高橋伸《挽夏》2003年、油彩・カンヴァス、作家蔵(部分)
高橋正敏《残雪・緋色の間の中で》2024年、油彩・カンヴァス、作家蔵(部分)

企画展

勇払幻視

北海道、ゆうふつげんや勇払原野のイメージをたどる

2025年

4月26日(土) - 6月29日(日)

開館時間 9:30~17:00 ※最終入場は16:30まで

休館日 月曜日 ※ただし、5/5(月・祝)は開館し、5/7(水)が休館

会場 第1・2展示室

観覧料 一般300(240)円、高大生200(140)円、中学生以下無料

※()内は10名以上の団体料金です。 ※年間観覧券による観覧が可能です。

※観覧料の免除規定についてはお問い合わせください。 ※あわせて常設展・中庭展示・特集展示もご覧いただけます。

《主催》苫小牧市美術館

《後援》独立美術協会、苫小牧信用金庫、北海道新聞社、株式会社苫小牧民報社、

NHK 室蘭放送局

苫小牧市美術館

Tomakomai City Museum 【愛称:あみゅー】

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

詳しい情報はホームページでご覧ください。

苫小牧市美術館 | Q

[tomakomai.museum](https://www.tomakomai.museum)

[@tomakomai_amyu](https://twitter.com/tomakomai_amyu)



勇払幻視 ゆうふつげんや 北海道、勇払原野のイメージをたどる

本展は、人間の生と死、そしてその循環を共通のテーマとする、砂田友治、北川豊、高橋伸、高橋正敏の4人展です。彼らの描きだす世界には、それぞれの私的情景を背景に、大地のイメージが浮かびあがります。

「勇払原野」は、北海道南西部、苫小牧から太平洋に至る一帯で、この地方が自生地として知られる果実・ハスカップなどの灌木が茂る大地であり、その印象的な景観は、苫小牧ゆかりの画家たちの創造の着想源にもなってきました。本展で取り上げる4名の作中に浮かび上がる地平の広がり、あるいは作中に立ち込める湿り気を帯びた大気の趣は、彼らの心が根ざす「原/幻風景」としての勇払原野のイメージと重なります。本展では、作中に立ち現れる、原野のイメージを手がかりに、生命の根源に迫る情景世界をご覧ください。

砂田友治（1916-1999）Tomoji Sunada

苫小牧に生まれる。北海道函館師範学校（現・北海道教育大学函館校）、東京高等師範学校（現・筑波大学）芸術科卒業。北海道教育大学で長年教授として教鞭を取る。生まれ育った苫小牧に広がる原野のイメージを生と死が循環する場所として捉え、その大地の様相を豊かな色彩とマチュエルで作中に表出させた。後年は、原野に人物を組み合わせて、生の象徴としての人間や家族のイメージを追求した。1956年全国展会員。1965年独立美術協会会員。1987年札幌市民芸術賞を受賞。1989年勲三等旭日中綬章受章。1996年独立美術協会会員功労賞を受賞。1999年10月北海道文化賞を受賞。

北川豊（1948-1982）Yutaka Kitagawa

苫小牧に生まれる。苫小牧東高等学校卒業。荒廃した大地を背景に重苦しく沈鬱とした雰囲気漂う群像を描き、生と生に伴う孤独感の横溢を描きだそうとした。また、油彩という技法に対する飽くなき探求心を持ち、画面の質感のヴァリエーションと色彩表現を追求した。1970年独立展初入選。1974年全国美術協会展協会賞受賞、北海道秀作美術展優秀賞受賞。1981年第24回安井賞展入選など今後の活躍が期待されたが、病により34歳で早逝。

高橋伸（1950- ）Shin Takahashi

白老に生まれる。苫小牧東高等学校、武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。1976年同大学院修了。武蔵野美術大学時代は、麻生三郎や松樹路人らの薫陶を受け、大学院修了後に留学したパリ国立美術大学では人体デッサンを追求した。高橋の作中には、常に確かな技術に裏打ちされ、強い存在感を放つ女性像が現れる。女性の背後には荒廃とした大地が広がり、大地のメタファーとして、あるいは生と死とその循環を象徴する存在として鑑賞者を強い視線でみつめる。独立美術協会会員、札幌武蔵野美術学院学院長。2020年紺綬褒章受章。2023年苫小牧市文化賞受賞。

高橋正敏（1950- ）Masatoshi Takahashi

苫小牧に生まれる。苫小牧東高等学校、神奈川大学法学部法律学科卒業。高橋が継続的に取り組む「地上」をキーワードとした作品群には、顔を覆い隠した人物と、鑑賞者を見つめ返す巨大な顔が出現する。観るものを眩惑する画中の世界には、いずれも彼方に地平線が引かれており、画家の原風景としての勇払原野のイメージが揺れ動く。1983年全国展協会賞受賞。2004年独立展にて奨励賞受賞。2005年とその翌年に独立展にて独立賞受賞。2006年苫小牧市文化奨励賞受賞。2007年独立美術協会会員。

展覧会の最新情報及び会期中のイベントの詳細については、随時当館公式HP 並びにSNS 等でお知らせします。

同時開催

第3展示室 特集展示「苫小牧ゆかりの書 市内所蔵品展」

▶▶2025年4月26日(土)～6月29日(日)

中庭展示 中庭展示Vol.21 風間天心「MELTY BUDDA」

▶▶2025年4月26日(土)～11月30日(日)



アクセス

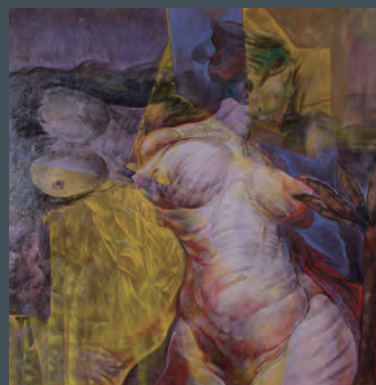
◆車でお越しのお客様
国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(苫小牧信用金庫中野支店かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。最寄りのインターチェンジは「苫小牧中央IC」。

◆バス
苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「高速ハスカップ号(札幌駅前行)」「高速たまごまい号(札幌駅前行)」「登別温泉線・苫小牧市立病院行」、のりば②から「04番」、のりば③から「08番」「12番」、苫小牧駅北口より、のりば①から「6番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間約10分)、下車後徒歩約5分。

◆駐車場
出光カルチャーパーク内(料金無料、約50台駐車可)

◆タクシー
JR苫小牧駅から約10分

◆徒歩
JR苫小牧駅から約25分



上から
砂田友治「呼ぶ声響く」1986年、油彩・カンヴァス、苫小牧市美術館蔵
北川豊「黄音(1)」1974年、油彩・カンヴァス、苫小牧市美術館蔵
高橋伸「SITUATION」1988年、油彩・カンヴァス、苫小牧市美術館蔵
高橋正敏「挽歌、北の空」2018年、油彩・カンヴァス、作家蔵

苫小牧市美術館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゅー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番9号
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>